



平谷こども発達クリニック院長 平谷美智夫さん

TEL.0776-54-9600

住所 福井市北四ツ居2-1409



### 【Profile】

昭和46年 金沢大学医学部卒業  
 昭和63年 金沢大学医学部講師を辞し、  
 福井県小児療育センターへ赴任  
 (県立病院小児科を兼任しアレルギー外来担当)  
 平谷こども発達クリニック開設  
 (小児科：アレルギー科・児童精神科)  
 ※昭和60年7月～62年7月  
 アメリカ合衆国クレイトン大学アレルギーセンター留学  
 ※医学博士論文  
 ダニアレルギー・児童のリンパ球の反応と減感作療法による  
 その変化

教えてDr.

## 子どもの発達障害

### 子どもの発達障害について

17年間一般小児科とアレルギーを勉強してきた私が、「県立で喘息を診て、療育センターで障害の子どもを診てこい」との教授の命で福井に来たのは1988年4月でした。当時、障害児と言えば、知的障害・脳性まひ・自閉症が中心でしたが、小児療育センターには、何も問題はなさそうなのに、言葉が出ない・友達と遊べない・落ち着きがない、などの子どもが多く相談に来られていました。当時は親の子育ての失敗のような解釈でしたが、今はちよつとした脳の機能障害と考えられるようになりしました。

発達障害を表を説明します。学習障害には、「あ」という字をみて『あ』という音に変わりにくいタイプ(ディスレクシア)、字を書くのが苦手なタイプ(書字障害)の子どもがたくさん相談に来られます。いつまでも指を使わないと計算できない算数障害も少なくありません。障害と気づかれないために、勉強に自信をなくしています。自閉症スペクトラム障害は、自分に閉じこもるといいう自閉症といふ言葉からは想像できないよ

うな子どもが含まれるようになり、多くの子どもが診断されるようになりました。注意欠陥多動性障害は、注意力が弱い・落ち着きがない・我慢ができないという3つの症状をいくつか持っている子どもたちです。

クリニックでは、医師による薬物治療(脳の科学により優れた薬剤が発売されるようになりました)の他に、心理士・言語聴覚士・作業療法士が指導し療育支援をしています。

次回から、クリニックの専門職に具体的に説明してもらいます。

表1 発達障害の分類 (一部略)  
(アメリカ精神医学会による)

- ①学習障害 (LDと呼ばれる)  
読字障害 (ディスレクシア) ・算数障害・書字  
表出障害
- ②自閉症スペクトラム障害  
(広汎性発達障害が正式名称ですが)  
自閉症・アスペルガー障害など
- ③注意欠陥多動性障害 (ADHDと呼ばれる)